

データで見る英検

～小・中・高校生の英語力向上の状況～

英語教育改革が進み、全国の小・中・高等学校で英語4技能をバランスよく育成する指導が行われていることを受けて、英検の受験者が増加傾向にあります。また、児童・生徒の英検各級の受験者を見ると、10年前当時と比べてより高い級の受験者が増え、英語力が向上していることの表れであると言えます。

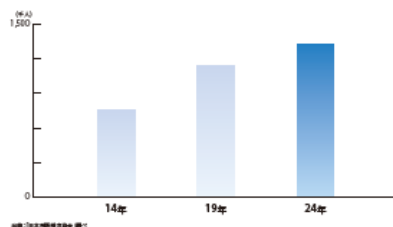
高校生 受験者数は増加傾向 英語力も向上している

受験者数の推移

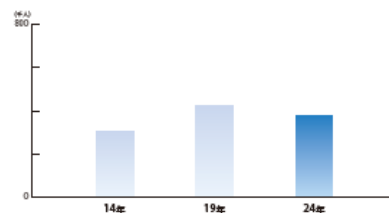
2024年度の高校生の受験者数は133万1,710人で、2014年度と比べて約1.8倍に伸びました。なかでも、2級の受験者は64万4,768人へのぼり、2014年度の約2.7倍に、準1級の受験者は19万8,863人で、2014年度の約8倍となりました。準2級の受験者数が減少しているのは、高校生の英語力向上により、2級以上の受験に遷移したものと見られます。

受験者数の推移

高校生受験者数(全体)



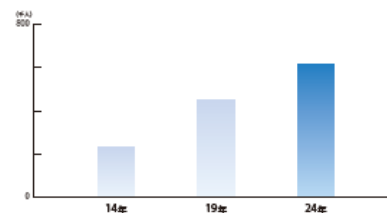
準2級高校生受験者数



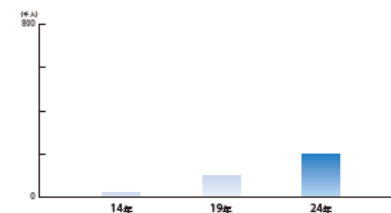
CEFRレベルの推移

高校生のCEFRレベルは向上傾向にあり、A2(英検準2級相当)やB1(英検2級相当)に到達する生徒も増加しています。A1(英検3級相当)が減少しているのは、生徒の英語力が向上し、A2の受験に遷移した結果であるといえます。

2級高校生受験者数

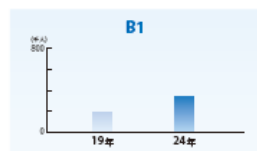


準1級高校生受験者数

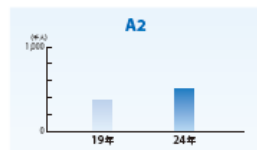


CEFRレベルの推移(4技能*)

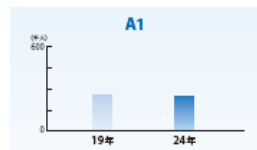
B1



A2



A1



CEFRレベルの推移(技能別*)

B1 Reading



A2 Reading



A1 Reading



B1 Listening



A2 Listening



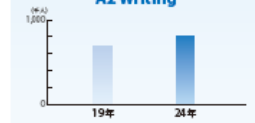
A1 Listening



B1 Writing



A2 Writing



A1 Writing



B1 Speaking



A2 Speaking



A1 Speaking



*英検CSEスコアで評価された受験者の合計 *全技能とWritingは19年以降の数値のみ
出典:「CSEスコア」を基に算出

～小・中・高校生の英語力向上の状況～

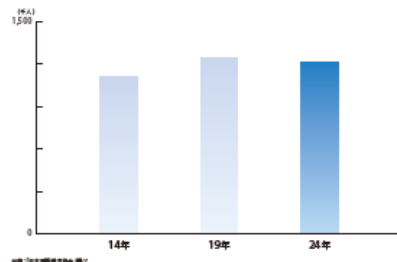
中学生 受験者数は増加傾向 英語力も向上している

受験者数の推移

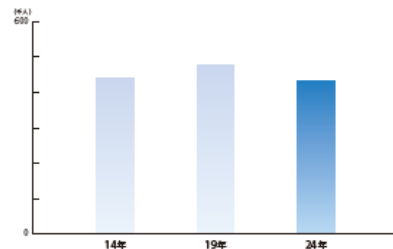
中学生の受験者数も2014年度と比較すると増加傾向にあります。2024年度の受験者数は122万555人で、2014年度の約1.1倍となりました。級別みると、準2級の受験者は27万3,130人で、2014年度の約1.6倍に、2級の受験者は10万8,722人で、2014年度の約3.1倍となりました。3級の受験者が減少しているのは、中学生の英語力向上により、準2級以上の受験に遷移したものと見られます。

受験者数の推移

中学生受験者数(全体)



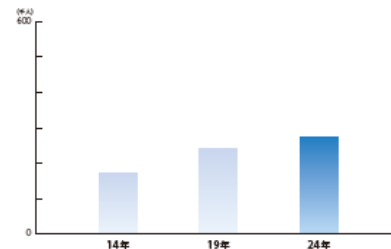
3級中学生受験者数



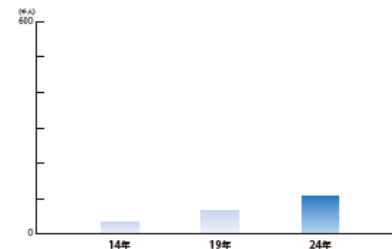
CEFRレベルの推移

中学生のCEFRレベルは向上傾向にあり、A1(3級相当)やA2(準2級相当)、B1(2級相当)に到達する生徒も増加しています。

準2級中学生受験者数

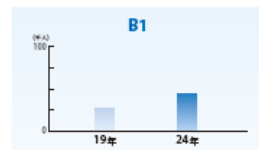


2級中学生受験者数

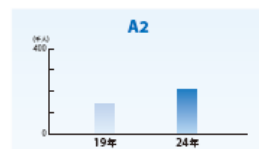


CEFRレベルの推移(4技能*)

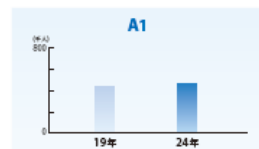
B1



A2

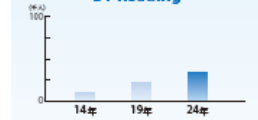


A1



CEFRレベルの推移(技能別*)

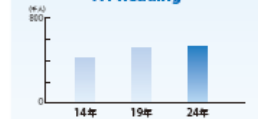
B1 Reading



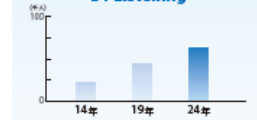
A2 Reading



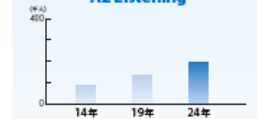
A1 Reading



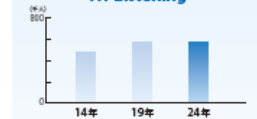
B1 Listening



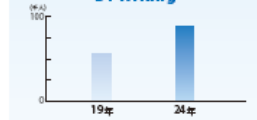
A2 Listening



A1 Listening



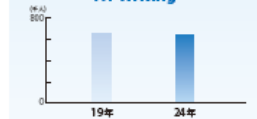
B1 Writing



A2 Writing



A1 Writing



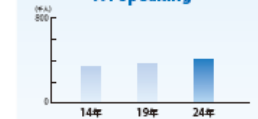
B1 Speaking



A2 Speaking



A1 Speaking



*英検CSEスコアで評価された受験者の合計 *各技能とWritingは19年以降の数値のみ
A2級以下は受験者数に限りなく

～小・中・高校生の英語力向上の状況～

小学生 受験者数は増加傾向 英語力も向上している

受験者数の推移

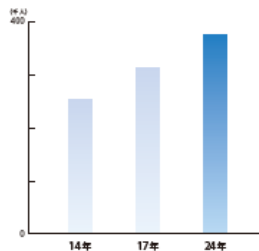
小学校の外国語教科化に伴い、小学生の英検受験者数も増加傾向にあります。2024年度の受験者数は37万5,991人で、2014年度の約1.5倍となりました。級別に見ると主に4級以上の受験者が増加しており、10年前と比べて4級は約1.6倍、3級は約1.9倍、準2級は約2倍となりました。

CEFRレベルの推移

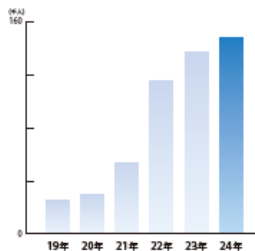
小学生のCEFRレベルも向上傾向にあり、A1(3級相当)やA2(準2級相当)に到達する児童も増えています。技能別にみてもいずれの技能も向上していることがわかります。

受験者数の推移

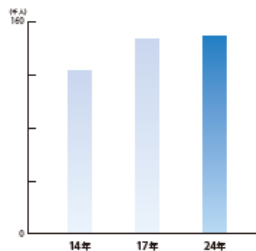
小学生受験者数(全体)



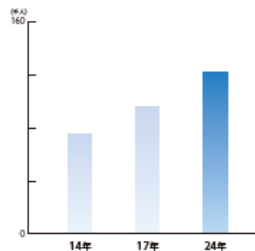
ESG受験者数



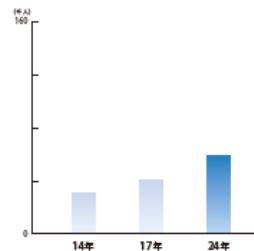
5級小学生受験者数



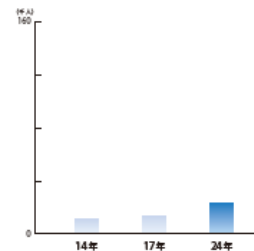
4級小学生受験者数



3級小学生受験者数

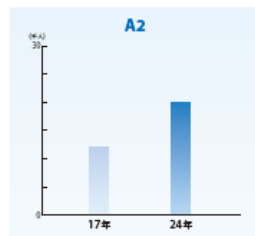


準2級小学生受験者数

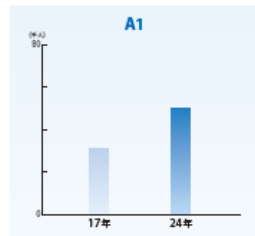


CEFRレベルの推移(4技能*)

A2

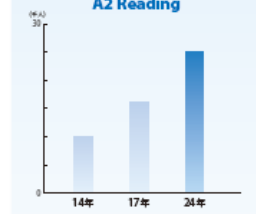


A1

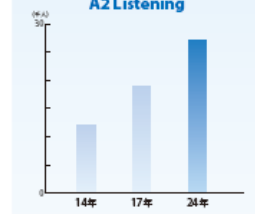


CEFRレベルの推移(技能別*)

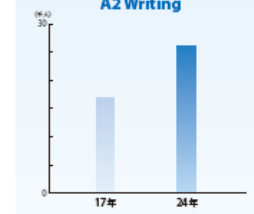
A2 Reading



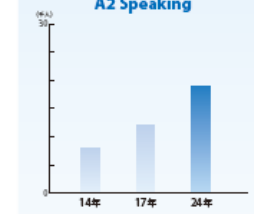
A2 Listening



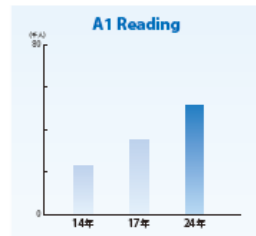
A2 Writing



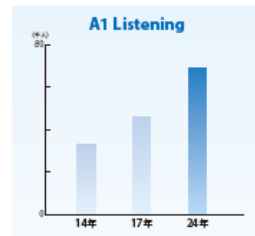
A2 Speaking



A1 Reading



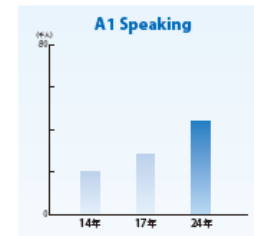
A1 Listening



A1 Writing



A1 Speaking



*英検CSEスコアで評価された受験者の合計 *全技能とWritingは19年以降の数値のみ
出典:日本英語検定協会調べ